



一般社団法人ウォーターリスクマネジメント協会 WRMA
水上オートバイレスキュー法資格講習会
2024年度 指導内容について





一般社団法人ウォーターリスクマネジメント協会 WRMA

- ★基本的にレスキュードライバー（D）とレスキューグラバー（G）は同時進行で行います。
よって、DとGの**レベル1は1日目**で行います。
DとGの**レベル2は2日目**で行います。
DとGの**レベル3は3日目**で行います。

また、操船免許をお持ちの方は各レベルのDとGと一緒に受けていただきます。

※Dだけの単体受講はありません。

操船免許をお持ちでない方は、Gのみの単体受講が出来ます。

■上記の設定の理由

Gは操船免許が無いので操船できないために単体で受講する形となります。

Dは、ドライバーとしての手技を身につけますが、Gの手技も出来ていないとDの手技が上手くできないことと、万が一落水した時などは瞬時にDからGへの役職を交代しなければいけない場面もあるからです。

- 水上オートバイレスキューは、泳力や水の中での体さばきも出来ないと機能しません。

水上オートバイから落水した時や、水上オートバイそのものが、機関故障で動かなくなった時に人の手だけによるレスキューも出来なければ刻一刻と変化する救助現場では対応する事が出来ないからです。

水上オートバイから落水したり、止まってしまった時に自分が要救助者になることは絶対に避けなければいけません。

※水上オートバイレスキューは、ヒューマンレスキューが出来てはじめて運用する事が出来ます。

- ▲次項から説明する訓練指導内容は、あくまでも目安となります。

訓練講習会場や参加者のレベル、内容により若干の変更工夫が行われますことをご承知下さい。





一般社団法人ウォーターリスクマネジメント協会 WRMA

★お申込み方法について

原則的に一般社団法人ウォーターリスクマネジメント協会（以下WRMAと略）の公式ホームページ内の申込フォームからのお申込みとなります。但し、個別の個人申込ではなく、公務救難機関等の代表窓口からの指導要請である場合は、その代表窓口のご担当者様に受講者の情報を一覧で作成いただき（WRMAの団体申込用フォーマットあり）一括にてお申込みする事が出来ます。

■申込金（受講料/入会登録金）について

各講習会受講コースの料金はWRMA公式ホームページ内に公開されている通りです。（一般受講料には入会登録金が含まれております）公務救難機関とその従事者と日本財団助成事業のシーバードのメンバーに対しては日本財団からの助成金が適用されます。受講料は無料となりますが、入会登録金は必要となります。

ご納入期日は、訓練講習会実施日の10日前となっております。どうしても間に合わないという理由がある際は、都度、ご相談いただきます。また、公務救難機関の総務会計上のご都合で訓練講習会実施後の請求書発行や後日ご納入については、ご相談ください。極力、各所の会計の締め日等に合わせた対応をさせていただきます。

○訓練講習会の時間について

開始時間は、基本的には午前1000とします。これは、日勤務明け（朝出勤）の公務救難機関従事者のご参加がしやすくするためとなっております。訓練講習会の参加者の内容や状況により早くなることもございますので、都度、ご確認いただきますようお願いいたします。昼食休憩等については、基本的に午後1200～1300で設定しておりますが、参加人数や内容状況によって、全体的に同時の休憩時間をとらずにグループ別にローテーションで休みと昼食をとっていただくこともございます。

終了時刻は、季節による日没時間にもより変わりますが、水上オートバイの使用後のメンテナンス時間がかかることと、ウエットスーツ等からの着替えに要する時間もかかりますので、基本的には午後1500～1600の間を目処に水上オートバイを陸揚げしアフターメンテナンスと着替え等をして午後1700には完全終了が出来る様にスケジュールします。



一般社団法人ウォーターリスクマネジメント協会 WRMA

★必要使用備品について

基本的には、WRMAで準備いたします。ただし、ウエットスーツ等のような適合サイズの内用が難しいものについては各自自身でご用意いただきます。手袋や靴のようなものも含まれます。（ライフジャケットはレンタル可）

■保険について

①水上オートバイ乗船時以外の作業中

| | | |
|------|---------|--------|
| 保険金額 | 死亡・後遺障害 | 300万円 |
| | 入院 | 3,000円 |
| | 通院 | 1,500円 |

②水上オートバイ乗船時

| | | |
|------|-------|-------------------------------|
| 保険金額 | 船体 | 20万円 |
| | 賠償責任 | 1億円（他人） |
| | 搭乗者傷害 | 1000万円×2名（本人）※1日10,000円以内の通院費 |



事故・怪我等の発生時は、協会加入の保険適用範囲を承諾いただいた上でのご参加とさせていただきます。
また、現地までの移動（車等）中の事故等におかれましては、自己責任での対応をお願い致します。

○受講者への受講お断りについて

訓練講習会前、実施中において、他の受講者や他者への迷惑行為、危険行為、指導員の指示の拒絶、指導員への暴言、暴力行為、進行の妨げなどがありましたら、担当指導員の判断の元、退場いただくことがございます。



一般社団法人ウォーターリスクマネジメント協会 WRMA

★WEB動画講習の受講について

訓練講習会当日は、極力実技の内容に時間を費やしたいと思いますので、従来対面で行っておりました座学を無くしWEBによる講習を受講いただくようにしております。対面式の実技訓練講習会の際は、このWEB講習会を受けていただいていることが全体で指導を進めていきますので、正確かつ真剣に受講しておいていただかないと実技訓練講習会の時に内容についていけなくなりますのでご注意ください。

■レベル1について

- ・レスキュー艇に特化した発航前点検と各部位の特性について
- ・基本操船（レスキュー対応に欠かせないベースとなる操船技術の習得）
- ・水中ヒューマンレスキュー法/搬送法
- ・水中レスキューチューブレスキュー法/搬送法
- ・水中レスキューボードレスキュー法/搬送法
- ・陸上搬送法（民間の未経験者にはCPR法の指導）
- ・水上オートバイによる意識あり要救助者救助法3種
（Aフォーメーション/Bフォーメーション/ラウンドAフォーメーション/ラウンドBフォーメーション）
- ・水上オートバイによる意識無し要救助者救助法1種
（C2フォーメーション）



※レベル1での講習では、レスキューに必要な水上オートバイの運用知識と操船技術を中心に水上オートバイレスキュー法を支えるベースとなるヒューマンレスキュー法についても訓練します。
初級段階として最低でも意識がある要救助者と意識のない要救助者を検索→発見→確保→搬送→陸上対応と完結対応出来るように訓練します。



一般社団法人ウォーターリスクマネジメント協会 WRMA

■ レベル2について

- ・ 基本操船（レスキュー対応に欠かせない更なるレベルの高い操船技術の習得）
レベル1よりも多数のメニューで操船技術を高めていきます。
- ・ 水上オートバイによる意識あり要救助者救助法2種復習
（Aフォーメーション/ラウンドAフォーメーション）
- ・ 水上オートバイによる意識無し要救助者救助法2種
（C1フォーメーション/D1フォーメーション）

※レベル2での講習では、更なる条件下でのレスキュー事象に対し必要な水上オートバイの操船技術を訓練します。

そのうえで、レベル1で習得したレスキュー技術の確実性を高めます。

特に、意識無しの要救助者に対してのレベル2で新たに紹介する手技は回数と時間を要しますので、あわてず確実にお伝えすることを目的とします。





一般社団法人ウォーターリスクマネジメント協会 WRMA

■レベル3について

- ・基本操船（レスキュー対応に欠かせない様々な環境下（キャビテーション等）で更なるレベルの高い操船技術の習得）
レベル2よりも多数のメニューで操船技術を高めていきます。
- ・水上オートバイによる意識あり要救助者救助法2種復習
（C2フォーメーション/C1フォーメーション/D1フォーメーション）
- ・水上オートバイによる意識無し要救助者救助法2種
（ラウンドC1フォーメーション/ラウンドC2フォーメーション/ラウンドDフォーメーション）

※レベル3での講習では、レベル2よりも更なる条件下でのレスキュー事象に対し必要な水上オートバイの操船技術を訓練します。

そのうえで、レベル2で習得したレスキュー技術の確実性を高めます。

特に、意識無しの要救助者に対してのレベル3で新たに紹介する手技は回数と時間を要しますので、あわてず確実にお伝えすることを目的とします。





一般社団法人ウォーターリスクマネジメント協会 WRMA

★これまでご紹介した各レベルの訓練指導内容は、すべてレスキュードライバーとレスキューグラバー協力の元共同で行います。操船免許が無く、操船出来ないグラバーはグラバーの手技に限って訓練指導しますが、ドライバーに関してはグラバーの技術を身に付け動きを把握していないと成熟したレスキュードライバーになることは出来ません。よって、先にもご案内させていただいた通り、操船免許をお持ちの受講者はレスキュードライバーとレスキューグラバーをセットで訓練を受ける必要があります。ご理解ください。

■一般社団法人ウォーターリスクマネジメント協会WRMAの指導プログラムは、年間100日以上の実際の安全管理やレスキュー対応の現場実践を元に作られています。

また、世界最高峰の水難救助指導機関である「ビッグ・ウェイブ・リスク・アセスメント・グループ」(略BWRAG)とも毎年連携を重ね水難救助の考え方や手法について共通の指導法を取り入れ、世界的にも最先端の内容で進めさせていただいております。

● BWRAG：アメリカハワイ州から発祥。世界各国の水難救助機関や団体が所属し全国各地で指導・サミットを実施している国際機関。

アメリカ本国では、国務省特殊部隊にも指導を行っている。

一般社団法人ウォーターリスクマネジメント協会理事長「今西」はBWRAGのインストラクターです

<https://www.bwrag.com/>





一般社団法人ウォーターリスクマネジメント協会 WRMA

消防士



消防士



消防士



警視庁 機動隊



海上保安官



ハワイ イーストサイド BWRAG 指導員訓練



ハワイ ノースショア BWRAG summit

